

SARS-CoV2 による Coronavirus disease 2019(COVID-19)の重症化・治療に影響を及ぼすバイオマーカーの探索と多層オミクス解析

以前、千葉大学医学部附属病院で臨床研究に参加された方の検体を関連する別の研究に利用させていただきます。新しい研究に検体を利用されたくない方は以下の「お問合せ先」に記載されたところまで、連絡をお願いします。

1. 研究の対象

2020年7月から2021年3月までに千葉大学医学部附属病院においてCOVID-19の治療を受け、「SARS-CoV2による Coronavirus disease 2019(COVID-19)の重症化・治療に影響を及ぼすバイオマーカー及び遺伝子多型の探索」の臨床研究に参加された方

2. 研究目的・方法

この研究は、新型コロナウイルス感染症患者における重症化を含めた臨床経過に影響を与える生体内因子を解明し、その遺伝的素因を探求することです。この研究の結果から新型コロナウイルス感染症の重症化の予防法の確立並びに原因をふまえた治療法の確立を目指しております。

以前に参加された研究で提供された血液、唾液の残余検体を利用して頂き、それらの検体より抽出したDNAおよびRNAを解析し、代謝、免疫、血管内皮障害に関連する遺伝子の変異（一般的に認められる遺伝子配列のバリエーション）やそれら遺伝子の発現、エピゲノム情報（遺伝子の発現に関わる染色体化学修飾のバリエーション）を分析します。また、血清成分あるいは末梢血血液細胞を対象として、新型コロナウイルスの中和試験や免疫応答性因子の分泌能の評価を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

以前の研究で採取した血液、唾液、口腔・鼻腔スワブと新型コロナウイルス感染症の治療に関連した臨床情報（年齢、性別、発症日、病歴、治療歴、重症度、体温、SpO₂、臨床検査値など）

4. 外部への試料・情報の提供

データ及び試料は匿名化された上で以下に記載する共同研究先に送付し解析を行う他、業務委託先にて処理を行います。また、業務委託先対応表は、千葉大学医学部附属病院で受診された臨床科において責任をもって保管・管理し、千葉大学内の他部門を含め、共同研究機関へ提供することはありません。

研究実施中、試料・情報の管理は各研究施設の研究責任者が責任を持って保管・管理致します。

- 共同研究機関
理化学研究所 健康医療 AI 予測推論開発ユニット
東京大学医科学研究所 システムウイルス学分野
- 業務委託先
株式会社エスアールエル

5. 研究組織

被験者からの同意取得、試料・情報の収集

- 千葉大学医学部附属病院 集中治療部
- 千葉大学医学部附属病院 感染制御部
- 千葉大学医学部附属病院 呼吸器内科

検体回収・PBMC の分離・DNA 抽出

- 株式会社エスアールエル

データの解析

- 千葉大学大学院医学研究院 分子腫瘍学
- 千葉大学大学院医学研究院 人工知能（AI）医学

6. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

千葉大学医学部附属病院 救急科 助教 大網毅彦

〒260-8670 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

TEL 043-222-7171（内線 6365）

研究代表者：

千葉大学大学院医学研究院 分子腫瘍学 教授 金田篤志

〒260-8670 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

TEL 043-226-2039（内線 5131）